

# 新名称後初！レシーブ体験 12 月に開催 大阪ブルテオンふるさと納税お礼品、11 月 1 日・2 日受付

◎画像あり

市は11月1日(金)と2日(土)の正午から、市PR大使で国内トップレベルの男子バレーボールクラブ・大阪ブルテオンの選手が放つスパイクをレシーブできる体験型ふるさと納税お礼品の受け付けを開始する。同クラブは今年の6月に世界最高峰のクラブになることを目標に掲げリブランディングを発表し、同体験はパナソニック パンサーズから名称変更後初の開催となる。レシーブを体験できるのは3万円寄附をした先着20人で、12月8日(日)の大阪ブルテオンのホームゲーム終了後に実施。観戦チケットもお礼品に含まれているため、レシーブ体験前に試合も観戦することができる。市担当者は「今年はいつ実施するのか？などの問い合わせを受けることも多く、枚方市のふるさと納税のお礼品として定着してきたと感じる。今後も協力しながら一緒に市を盛り上げていけたら」と話す。

- ★ お礼品の内容は①選手のスパイクをレシーブできる権利(1人分)と②12月8日(日)の試合の観戦チケット(3階指定席2人分)のセットで寄附金額は3万円。レシーブ体験は12月8日、パナソニックアリーナでの試合終了後に公式戦が行われたコートでできる。体験後は、選手との記念撮影も可能。



▲大阪ブルテオンホームゲームの様子。



▲昨年のレシーブ体験の様子。

- ★ 大阪ブルテオン(旧パナソニック パンサーズ)は1951年に創部し、菊丘南町にあるパナソニックアリーナを本拠地とする男子バレーボールクラブ。Vリーグ・天皇杯・黒鷲旗の3大タイトル全てを制する3冠を3度成し遂げるなど、日本を代表する強豪チームとして知られる。昨年はVリーグで準優勝に輝いた。  
今シーズンから始まる新たなリーグ「大同生命 SV. LEAGUE MEN」の開幕に向け、世界最高峰のクラブになることを目標に掲げたリブランディングを実施し、今年6月に新名称の「大阪ブルテオン」を発表した。オポジットの西田有志選手、ミドルブロッカ

一の山内晶大選手、リベロの山本智大選手、アウトサイドヒッターの富田将馬選手などパリ五輪に選出された日本代表選手が所属。今シーズンからは新戦力として、富田将馬選手（前：東レアローズ静岡）、永露元稀選手（前：ウルフドッグス名古屋）、キューバ共和国出身のロペス・ミゲル選手（キューバ代表）が加わり、新リーグでの優勝を目指す。また、平成29年度からは市PR大使を務めている。

- ★ レシーブ体験は令和元年度から返礼品として提供しており、毎年即日完売。関西圏だけでなく東北や関東などの全国からも申し込みがあった。参加者からは「プロのスピードを体感できる貴重な体験」「何度でも参加したくなる！」などの感想があった。これまでの体験会の様子などPR動画をYouTubeの枚方市公式アカウント（<https://youtube.com/playlist?list=PL67EqtzQgBcGyNZy0qpzqwgVg2rcRAwup> または上記コード）で公開している。



- ★ ふるさと寄附の申し込みは、今年も申し込みの機会を広くするため平日と土曜の2日に分けて実施。11月1日（金）と2日（土）の正午からそれぞれ10人ずつ、ふるさと寄附金ポータルサイト「さとふる」（URL：<https://www.satofull.jp/city-hirakata-osaka/>）で開始する。

<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課 ☎：072-841-1258 FAX：072-846-5341